

農業競争力強化基盤整備事業（農地整備事業（畑地帯担い手支援型））（茨城県坂東市 寺久・三地区）

事業の概要

○目的

農道・区画整理・排水改良を行うとともに、霞用水を活用した畑地かんがい施設の整備を行うことにより、効率的で安定的な営農体系の確立を図る。

○概要

事業名 農業競争力強化基盤整備事業
（農地整備事業（畑地帯担い手支援型））

（ふりがな） （てらく・みむら）

地区名 寺久・三地区

関係市町 坂東市

事業工期 H13～H26年度

受益面積 121.7ha

主要工事 区画整理 70.8ha

道路工 2.9km

農業用水 64.9ha

排水路工 1.5km

主要作物 レタス、苺、白菜

地区の現状と課題

- 本地区は坂東市の西部に位置する畑作地帯で、都市近郊型の営農が行われている。
- 今後も消費者のニーズに応じた生鮮野菜の供給基地として発展していくことが期待されている。
- 未整備のため農道は狭く区画は不整形で排水不良のため営農に支障を来している。
- 畑地かんがい施設の不備により、天水頼りの営農を行っており、農作物の生産が不安定である。

○不整形で分散しているほ場



○排水不良の畑



○日照りの影響による苗枯れ



霞用水を活用した、効率的で安定的な営農体系の確立

- 農道・区画整理を行うとともに、担い手への農地集積を推進し、効率的な営農体系の確立を図る。（地域内の土地利用調整を円滑に推進するため、「寺久・三生産組合」を設立。）
- 排水改良を行うとともに、霞用水を活用した畑地かんがい施設の整備を行うことにより、天候に左右されない安定的な営農体系の確立を図る。
- 非農家も含めた維持管理組合を設立し、地域が一体的に維持管理を行う体制の確立を図る。

○区画整理後の営農状況



○畑地かんがい施設を利用した営農



○整備された幹線道路



○位置図 県内位置図

